

岩国総合高校だより

「見つけよう夢 見つけよう未来」

発行日 平成29(2017年)2月14日
発行者 山口県立岩国総合高等学校
校長 金石芳朗
TEL 0827-31-6155
HP <http://www.iwakunisogo-h.ysn21.jp>

課題研究発表会(プレゼンテーションステージ2016) 学習成果発表!

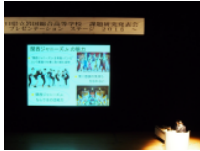
新しい年が明けて間もない1月12日(木)、「課題研究発表会(プレゼンテーションステージ2016)」を、シンフォニア岩国コンサートホールを会場として、盛大に開催しました。

平日にもかかわらず、PTA役員や学校評議員の方々、保護者の方々や中学校の先生方が多数来場してくださり、日頃の学習の成果を多くの方々に披露しました。

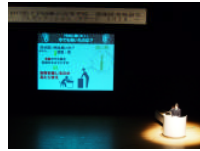
まず、はじめに、1年次生が「産業社会と人間」で体験したインターンシップ、職場見学、学校見学などで学んだことを、代表者3名が発表しました。

次に、2年次生が総合的な学習の時間である「WISE PERSON21」で体験した修学旅行や職業人講話などの学習のまとめを、代表者1名が発表しました。

最後に、3年次生の校内発表会で選ばれた代表者6名が、本校の学びの成果である課題研究の研究結果を発表しました。どの発表も自分の興味・関心を踏まえて熱心に取り組んでおり、聴衆から大きな拍手をいただきました。その結果、本年度は2名が最優秀発表者に輝きました。ご来場くださった皆様、ご清聴ありがとうございました。



研究「大阪の魅力」



研究「人間はなぜ怖いと感じるのか」



ロビーに展示した5千字の研究論文



最優秀発表者の発表

サテライト研修(1年間の振り返り)

1月27日(金)の午後、今年度、やまぐち総合教育支援センターの支援を受けて実施した、課題解決型サテライト研修の1年間の振り返りを行いました。

「主体的に学ぶ力を育成するための指導の工夫」をテーマに年間を通して授業改善に取り組みました。

当日は、センターの藤村敦史主査を講師に迎え、和やかに研修を実施しました。



全商スピーチコンテスト優秀賞獲得

1月8日(日)、東京の全商会館で開催された第33回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(プレゼンテーション部門)に、3年次生の高田菜月さんが出場して、最優秀賞に次ぐ優秀賞を獲得しました。

高田さんは、1年次生のときからこの全国大会に3年連続で出場し、最後の大会で、見事全国第2位の快挙を達成しました。



【ご案内】

◎ライフプラン発表会

2月16日(木)13:30~15:20、本校視聴覚室において1年次生が「産業社会と人間」の学習成果であるライフプランの発表を行います。

◎PTA清掃活動

2月18日(土)9:00~11:00、本校においてPTA清掃活動を行います。本校HP参照。

◎卒業式

3月1日(水)10:00~11:00 本校体育館において卒業式を挙行政します。

【2月中旬~3月の予定】

- 2月15日(水) 1・2年 仕事体験進学フェア
- 2月16日(木) 1年 ライフプラン発表会
- 2月18日(土) PTA清掃活動
- 2月20日(月) 1・2年 第5期考查時間割発表
- 2月21日(火) 3年 登校日
- 2月27日(月)~3月6日(月) 1・2年 第5期考查
- 2月28日(火) 同窓会入会式 表彰式 卒業式予行
- 3月1日(水) 卒業式
- 3月7日(火) 高校入試 家庭学習
- 3月17日(金) 後期終業式

平成28年度 冬休み明け全校集会 校長講話
「新年の目標を設定し、達成に向けてスタートを切ろう」

平成29年1月10日（火）

新年明けましておめでとうございます。

また、皆さんの元気な姿を見ることができ、とてもうれしく思います。

さて、1年の計は元旦にありと言われます。私は、冬休み前の全校集会で、お正月には、新年の目標を立てて、新しい年の良いスタートを切りましょうと話しました。

皆さん、新年の目標は立てることができましたか。また、立てた目標に向けてスタートは切れましたか。

今日は、昨年プロ野球でピッチャーとバッターの両方で大活躍をして、日本ハムファイターズを日本一に導いた大谷翔平選手が、高校時代に行った目標設定の方法を紹介します。

大谷選手は高校時代に、マンダラチャートと呼ばれる目標設定シートを、うまく使って、目標を達成しています。

この目標達成シートは、9×9の合計81個のマス目に、細かく分けた目標や行動などを書き込むシートです。このシートを作成すると、目標を達成するためにどのような行動をとればよいか、一目瞭然で分かります。

高校時代、大谷君は、そのシートの真ん中に、高校3年間かけて、達成したい目標を書き、その周りの8つのマス目に、その目標を達成するための要素を書き込みました。

彼がシートの真ん中に書いた目標は、高校3年生の秋に「プロ野球の8球団からドラフト1位に指名」してもらおうことです。

彼は、「なるべく具体的に、できればちょっと上の目標を書き込んだ」と言っています。

その目標を達成するための要素として、体力づくり、コントロール、160km/時の球速、人間性などを挙げています。

さらに、それぞれの要素を実現するための行動を、各ブロックに8つずつ、書き込んで、全部のマスを埋めました。

例えば、160km/時の球速を達成するための行動としては、下半身の強化、体幹（体の中心）の強化、体重の増加などです。

また、人間性を向上させるための行動としては、礼儀、思いやり、感謝などに気を付けて行動することです。

中でも、高校時代に大谷君がこだわったのは、球速です。実際に彼は、高校3年生のとき、岩手県大会で160km/時を出して、プロ野球のピッチャーでもなかなかできないことを、見事にやってのけました。

もちろん、トップアスリートの大谷選手だから、この目標設定シートがうまく使えたということはあったかも知れません。

ただ、どんな人でも、目標を設定して、具体的にどのような行動を起こすかを考えて、紙に書くと、目標を達成しようとする意欲が湧いてきます。

無論、目標を設定しなければ、目標を達成することはできません。

私も、このお正月に、岩国総合高校をもっと活気のある学校にするための目標やその方法を考えてまとめてみました。

皆さんも、是非、自分自身でちょっと上の目標を設定し、それを達成するための具体的な行動を明らかにして、目標に向かってスタートを切りましょう。

今年も、ともに頑張りましょう。